

平成24年度

稲敷市水道事業会計決算の概要

復興の 未来と命
照らす水

水道事業会計

工業用水道事業会計

平成24年度 水道事業会計決算の概要

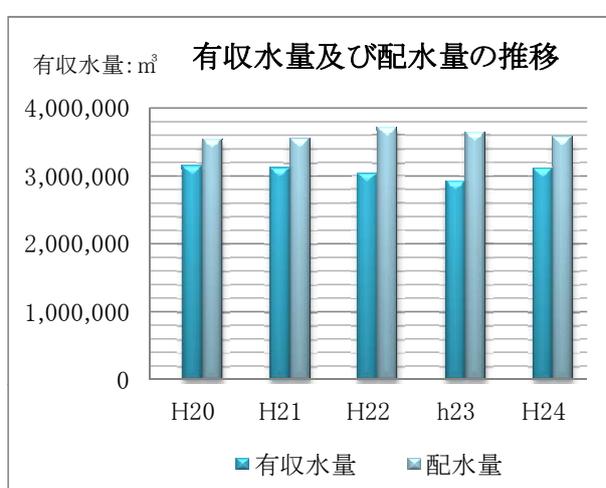
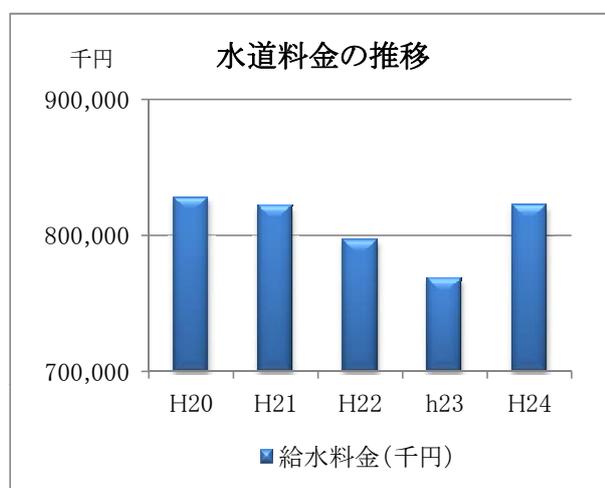
◎総括事項

営業業務のうち、収益の大半を占める料金収入は822,058千円で、前年度に比べ7.0%の増加となる一方、費用は868,134千円で、4.2%の減少となったことから、純利益38,636千円となりました。料金の増収は有収水量と比例、これまで東日本大震災等の影響で減少していましたが、24年度決算では震災前の21年度決算821,451千円とほぼ同額となっております。

建設改良事業では、前年度より繰越となった災害復旧工事11本、地区要望の配水管新設工事3本、圏央道・県道工事に伴う配水管布設替工事4本等をそれぞれ実施しました。また、災害等の危機管理対応に備えるため、給水車を更新しております。

水道新規加入件数は125件で、前年度に比べ43件、52.44%増加したものの、普及率は、給水区域内人口及び給水人口の減少から前年度と同じ67.0%となっております。

なお、料金徴収事務は、平成24年7月分より下水道使用料との一括徴収を開始したことにより、利便性の向上と事務の簡素化を図っております。



◎業務の実績

項目	単位	平成24年度	平成23年度	比較	
				増減	増減率(%)
給水区域内人口 (住民基本台帳人口)	人	45,434	46,263	△ 829	△ 1.79
給水人口	人	30,451	31,000	△ 549	△ 1.77
普及率	%	67.0	67.0	0.0	0.00
計画給水人口	人	43,050	43,050	0	0.00
計画給水人口に対する普及率	%	70.7	72.0	△ 1.3	△ 1.81
給水件数	件	10,478	10,428	50	0.48
給水件数(一般家庭用)	件	9,753	9,716	37	0.38
水道新規加入件数	件	125	82	43	52.44
導・送・配水管延長	m	503,783	501,924	1,859	0.37
配水能力	日/m³	14,228	14,228	0	0.00
年間配水量	m³	3,562,319	3,623,441	△ 61,122	△ 1.69
県水受水量	m³	3,086,540	3,195,262	△ 108,722	△ 3.40
自己水源	m³	591,491	539,169	52,322	9.70
年間有収水量	m³	3,108,121	2,910,212	197,909	6.80
有収率	%	87.2	80.3	6.9	8.59
一日平均配水量	m³	9,760	9,900	△ 140	△ 1.41
一日最大配水量	m³	10,927	11,736	△ 809	△ 6.89

平成24年度 損益計算書

(単位:円)

科目	24年度(A)	23年度(B)	増減(A)-(B)	増減率(%)
事業収益(A)	906,769,772	945,560,348	△ 38,790,576	△ 4.10
営業収益	846,012,007	781,595,617	64,416,390	8.24
営業外収益	60,757,765	163,964,731	△ 103,206,966	△ 62.94
事業費用(B)	868,133,943	906,564,510	△ 38,430,567	△ 4.24
営業費用	841,333,392	838,644,452	2,688,940	0.32
営業外費用	20,513,549	24,942,635	△ 4,429,086	△ 17.76
特別損失	6,287,002	42,977,423	△ 36,690,421	△ 85.37
当年度純利益(A)-(B)	38,635,829	38,995,838	△ 360,009	△ 0.92
当年度未処分利益剰余金	478,145,648	439,509,819	38,635,829	8.79

平成24年度 貸借対照表

(単位:円)

科目	24年度(A)	23年度(B)	増減(A)-(B)	増減率(%)
固定資産	8,698,655,415	8,485,030,486	213,624,929	2.52
流動資産	920,921,500	1,003,314,670	△ 82,393,170	△ 8.21
資産合計	9,619,576,915	9,488,345,156	131,231,759	1.38
負債	156,498,855	179,841,264	△ 23,342,409	△ 12.98
資本金	4,170,454,112	4,216,893,870	△ 46,439,758	△ 1.10
剰余金	5,292,623,948	5,091,610,022	201,013,926	3.95
負債・資本合計	9,619,576,915	9,488,345,156	131,231,759	1.38

平成24年度 企業債

平成24年度企業債の借入額は、東日本大震災復旧事業資金として財政融資資金68,200,000円を借入れました。また、償還額は265,425,758円で、平成24年度末未償還残高は952,076,736円となります。

未償還残高は、これまで企業債借入れを抑制してきたことから毎年減少し、平成23年度残高と比較しますと197,225,758円、17.2%の減となっております。

企業債増減額

(単位:円)

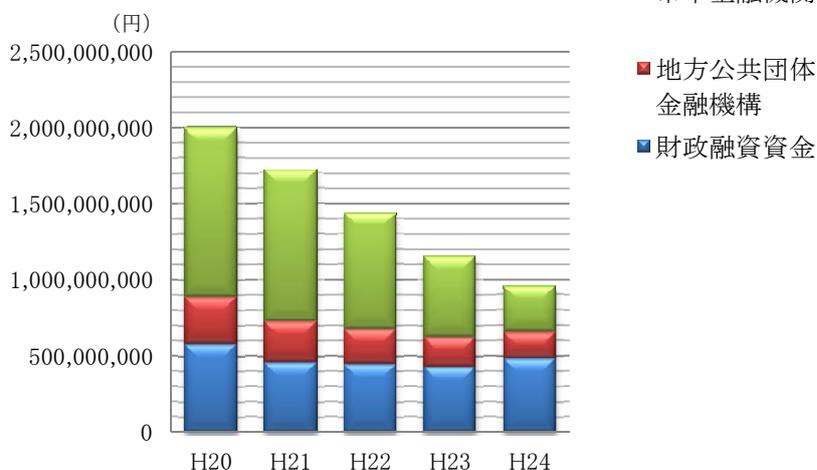
項 目	発行総額	23年度末残高	24年度		償還高累計額	24年度末未償還残高
			借入額	償還額		
財政融資資金	517,400,000	428,358,306	68,200,000	17,707,501	106,749,195	478,850,805
地方公共団体 金融機構	399,000,000	195,678,172	0	25,509,866	228,831,694	170,168,306
市中金融機関	1,166,200,000	525,266,016	0	222,208,391	863,142,375	303,057,625
合 計	2,082,600,000	1,149,302,494	68,200,000	265,425,758	1,198,723,264	952,076,736

未償還残高の推移

(単位:円,%)

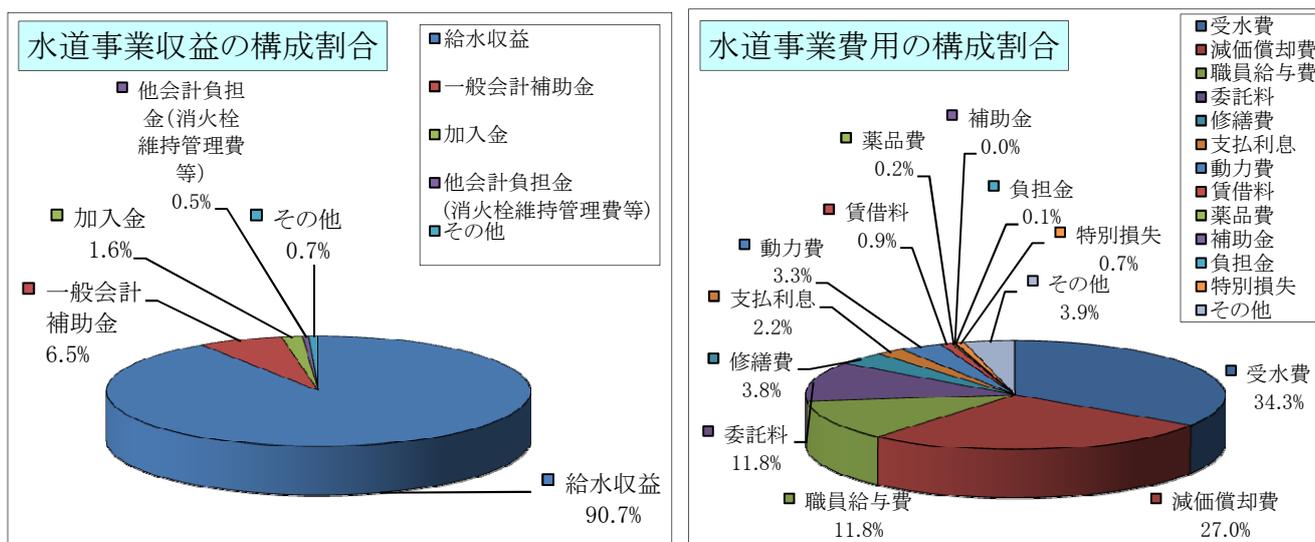
項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (A)	平成24年度 (B)	対前年度増減額 (C)=(B)-(A)	対前年度増減率 (C)/(A)×100
財政融資資金	576,575,851	453,943,768	442,982,512	428,358,306	478,850,805	50,492,499	11.8
地方公共団体 金融機構	309,512,181	271,615,100	230,592,616	195,678,172	170,168,306	△ 25,509,866	△ 13.0
市中金融機関	1,105,000,000	992,359,559	759,877,995	525,266,016	303,057,625	△ 222,208,391	△ 42.3
合 計	1,991,088,032	1,717,918,427	1,433,453,123	1,149,302,494	952,076,736	△ 197,225,758	△ 17.2

企業債未償還残高の推移



【24年度収益的収支】

水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、水道事業を運営するための経費とその財源



◎水道事業収益の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	24年度(A)		23年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	822,058,255	90.7	768,058,011	81.2	54,000,244	7.0
一 般 会 計 補 助 金	58,663,000	6.5	162,624,041	17.2	△ 103,961,041	△ 63.9
加 入 金	14,555,000	1.6	7,880,001	0.8	6,674,999	84.7
他 会 計 負 担 金 (消火栓維持管理費等)	4,909,050	0.5	5,177,550	0.6	△ 268,500	△ 5.2
そ の 他	6,584,467	0.7	1,820,745	0.2	4,763,722	261.6
収 益 合 計	906,769,772	100.0	945,560,348	100.0	△ 38,790,576	△ 4.1

◎水道事業費用の構成(税抜)

(単位:円)

科 目	24年度(A)		23年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
受 水 費	298,197,683	34.3	303,727,890	33.5	△ 5,530,207	△ 1.8
減 価 償 却 費	233,971,653	27.0	239,558,754	26.5	△ 5,587,101	△ 2.3
職 員 給 与 費	102,586,916	11.8	113,190,891	12.5	△ 10,603,975	△ 9.4
委 託 料	102,341,792	11.8	96,354,507	10.6	5,987,285	6.2
修 繕 費	33,016,290	3.8	25,442,307	2.8	7,573,983	29.8
支 払 利 息	19,305,971	2.2	22,861,190	2.5	△ 3,555,219	△ 15.6
動 力 費	28,491,770	3.3	24,357,952	2.7	4,133,818	17.0
賃 借 料	7,494,000	0.9	7,171,400	0.8	322,600	4.5
薬 品 費	1,401,950	0.2	1,294,560	0.1	107,390	8.3
補 助 金	142,858	0.0	419,049	0.1	△ 276,191	△ 65.9
負 担 金	725,359	0.1	720,181	0.1	5,178	0.7
特 別 損 失	6,287,002	0.7	42,977,423	4.7	△ 36,690,421	△ 85.4
そ の 他	34,170,699	3.9	28,488,406	3.1	5,682,293	19.9
費 用 合 計	868,133,943	100.0	906,564,510	100.0	△ 38,430,567	△ 4.2

※24年度特別損失:不納欠損処分6,287,002円

23年度特別損失:不納欠損処分6,319,281円及び災害臨時損失36,658,142円

給水原価

(経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費))÷年間総有収水量

効率性の視点から見た指標の判断→「低い」ほうがよい

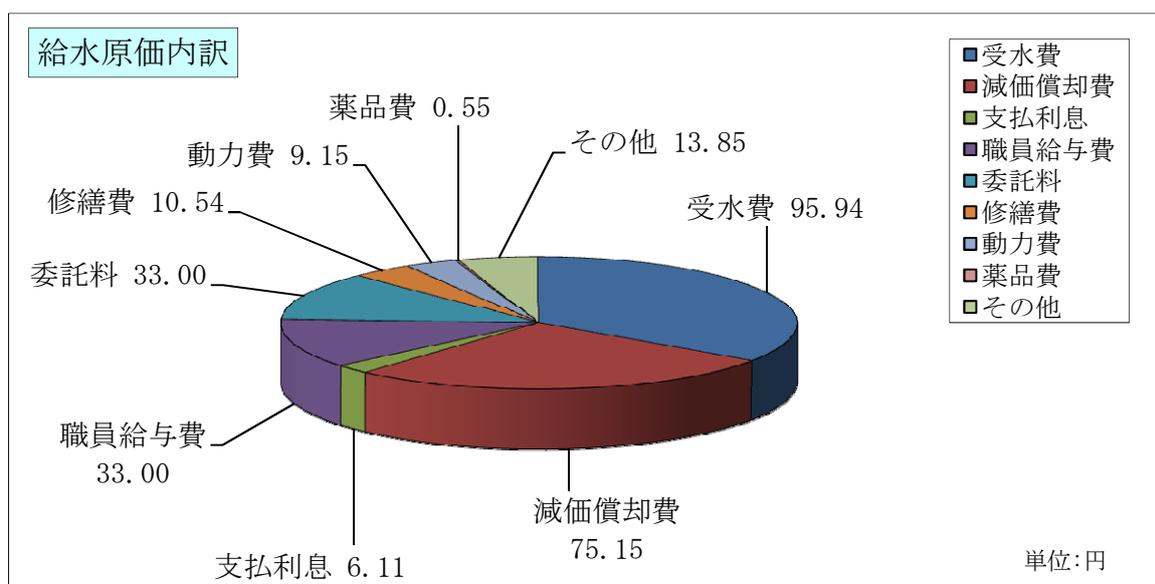
収益につながる水量1m³当たりについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもので、1m³の水を製造するのにいくらかかるかを示す指標です。水道の生産原価を示しています。

給水原価とその内訳

給水原価の使途はグラフのとおりです。給水原価277.29円のうち受水費と減価償却費が61.3% (171.09円)を占めています。

(単位:円/m³)

区 分	24年度	23年度	22年度	21年度
給水原価(A)	277.29	296.74	289.69	287.17



供給単価

給水収益÷年間総有収水量

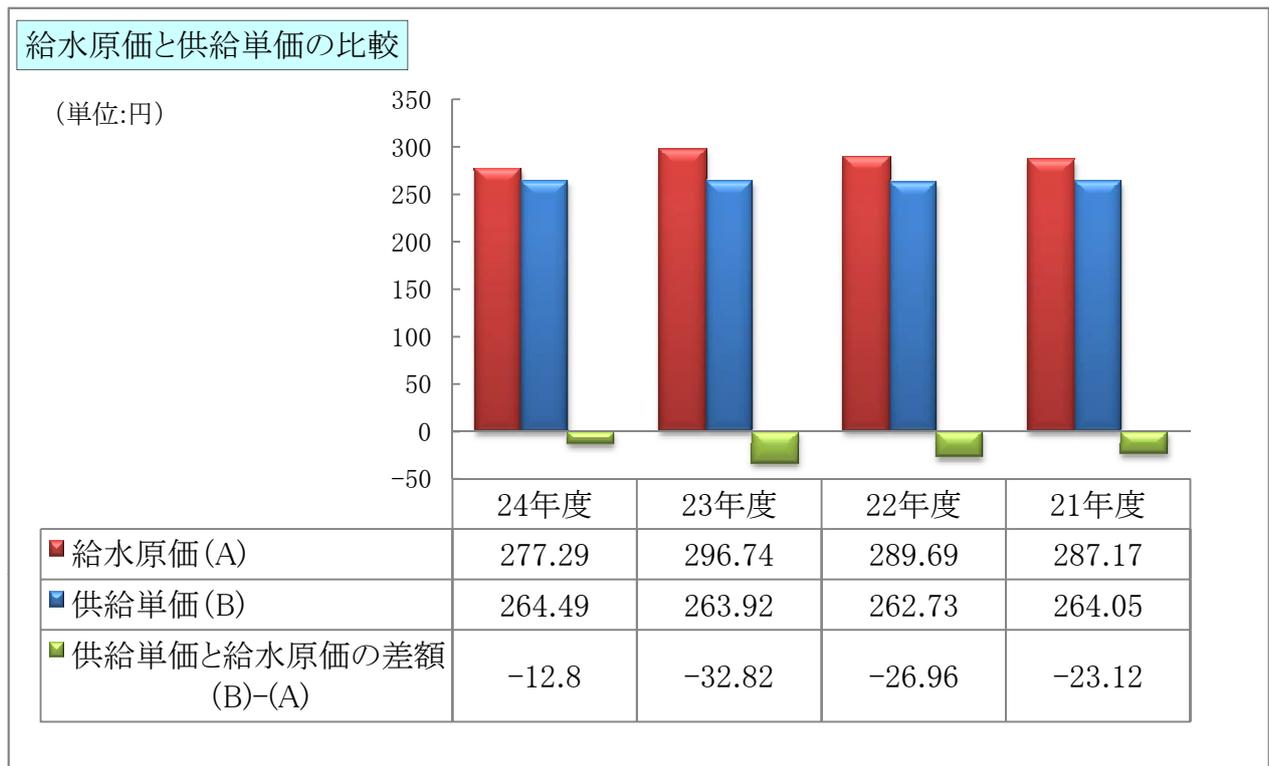
効率性の視点から見た指標の判断→「高い」ほうがよい

有収水量1m³当たりについてどれだけ収益を得ているかを表すもので、1m³の水を供給したときの平均収入額を見る指標です。

区 分	24年度	23年度	22年度	21年度
供給単価(B)	264.49	263.92	262.73	264.05

給水原価と供給単価の比較

「給水原価」が「供給単価」を上回っている場合は、給水にかかる費用を補うのに、水道料金以外の収入が必要な状況にあるといえます。1m³の水を供給するのにかかる費用と1m³あたりの水道料金の単価を比較することにより、原価回収ができていないかを把握できます。供給単価と給水原価の差が、プラスになると利益が出ていることとなりますが、稲敷市の場合、今だ給水原価が供給単価を上回っている状況にあります。



◇ 経営分析

◎ 財務分析表

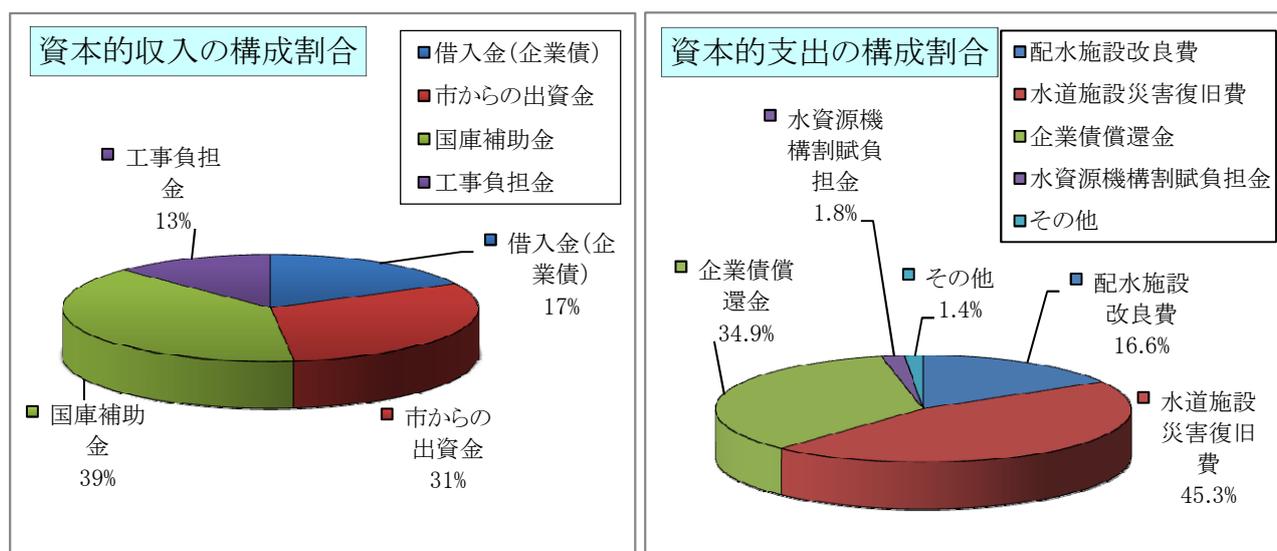
分析項目	平成24年度	平成23年度	県平均 (23年度参照)	解説
1. 自己資本構成比率(%)	88.5	86.0	63.40	総資本に対する自己資本金の占める割合。経営の安定性を判断する指標。
2. 固定資産対長期資本比率(%)	91.5	90.7	91.60	固定資産の調達が長期資本の範囲でまかなわれているかを示し、低いほど安定性が高く100%以下が望ましい。
3. 流動比率(%)	816.0	763.5	598.90	企業の支払い能力を示す。
4. 総収支比率(%)	104.5	104.3	99.60	総費用に対する総収益の割合。総収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
5. 経常収支比率(%)	105.2	109.5	102.10	経常費用に対する営業収益の割合。経常収支の安定性を判断する指標。100%以上が安定的とされる。
6. 営業収益対営業費用比率(%)	100.6	93.2	103.20	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。
7. 企業債償還額対減価償却比率(%)	119.3	122.3	84.10	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却を比較したものである。
8. 給水収益に対する比率(%)				
(1) 企業債償還元金	34.0	38.1	28.10	料金収入に対して企業債償還額の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(2) 企業債利息	2.3	3.0	9.50	料金収入に対して企業債利息の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(3) 減価償却費	36.3	41.1	31.80	料金収入に対して減価償却の比率を表したものの。比率は低いほど良好。
(4) 職員給与費	10.9	12.8	10.70	料金収入に対して職員給与費の比率を表したものの。比率は低いほど良好。

◎ 経営分析表

分析項目	平成24年度	平成23年度	県平均 (23年度参照)	解説
1. 施設利用率(%)	68.6	69.6	63.20	配水能力に対する平均の割合を示し、施設の利用度を見るものである。比率は大きいほど良い。
2. 負荷率(%)	89.3	84.4	84.90	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。比率は大きいほどよい。
3. 最大稼働率(%)	76.8	82.5	74.50	配水能力に対する最大配水量の割合を示し、この率が極端に低いと過大投資を示し、逆の場合は施設の拡充が必要である。
4. 配水管使用効率(m ³ /円)	7.1	7.2	13.80	配水管使用効率は、導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、給水区域の人口密度の影響を受ける。数値が高いほどよいとされている。
5. 固定資産使用効率(m ³ /円)	0.4	0.4	6.2	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。この比率が高いほど施設が効率的であり、低い場合には遊休資産・未稼働資産についての検討を要する。
6. 供給単価(円銭/m ³)	264.5	263.9	187.25	有収水量1m ³ 当たりどれだけの収益を得ているかを表す。
7. 給水原価(円銭/m ³)	277.3	296.7	209.17	有収水量1m ³ 当たりどれだけの費用がかかっているかを表す。
8. 職員1人当の給水人口(人)	2,537.6	2,384.6	3,836.10	
9. 職員1人当の有収水量(千m ³ /人)	259.0	223.9	389.2	人的資源が効率的に活用されているか否かを示す指標であり、数値が大きいほど職員1人当たりの生産性が高いことを示している。
10. 職員1人当の営業収益(千円)	70,501.0	60,122.7	76,967.7	

【24年度資本的収支】

水道事業会計のうち、水道施設を建設・整備するための経費とその財源



◎ 資本的収入の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	24年度(A)		23年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
借入金(企業債)	68,200,000	17.5	0	0.0	68,200,000	0.0
市からの出資金	120,126,000	30.7	17,132,000	100.0	102,994,000	601.2
国庫補助金	153,822,000	39.3	0	0.0	153,822,000	0.0
工事負担金	48,855,000	12.5	0	0.0	48,855,000	0.0
資本的収入合計	391,003,000	100.0	17,132,000	100.0	373,871,000	2,182.3

◎ 資本的支出の構成 (税込)

(単位:円)

科 目	24年度(A)		23年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
配水施設改良費	126,225,750	16.6	67,982,040	18.3	58,243,710	85.7
水道施設災害復旧費	344,265,702	45.3	9,975,000	2.7	334,290,702	3,351.3
企業債償還金	265,425,758	34.9	284,150,629	76.6	△ 18,724,871	△ 6.6
水資源機構割賦負担金	13,690,887	1.8	8,810,480	2.4	4,880,407	55.4
その他	10,347,068	1.4	238,320	0.0	10,108,748	4,241.7
資本的支出合計	759,955,165	100.0	371,156,469	100.0	388,798,696	104.8

◎ 資本的収支の不足額 (税込)

(単位:円)

科 目		24年度(A)	23年度(B)	増減(A)-(B)
資本的収支不足額		368,952,165	354,024,469	14,927,696
補填財源内訳	過年度分損益勘定留保資金	236,836,484	335,748,005	△ 98,911,521
	当年度分損益勘定留保資金	87,817,184	14,307,612	73,509,572
	減債積立金	0	0	0
	建設改良積立金	30,660,000	0	30,660,000
	その他の他 (当年度消費税資本的収支調整額)	13,638,497	3,968,852	9,669,645

工 事

(1)建設改良工事の概況

(単位:円)

	工事名	施工内容	契約金額(税込)
23 年 度 繰 越 了 工 事	H23稲水 県道改良工事に伴う配水管布設替工事	配水布設工事 給水管切替工事 消火栓設置工事	L=277.1m 2件 1基 21,325,500
	H23稲水 水道災害復旧工事(第1工区)	配水布設工事	L=538.7m 12,996,480
	H23稲水 水道災害復旧工事(第2工区)	配水布設工事 給水管切替工事 消火栓設置工事	L=846.2m 26件 1基 21,094,500
	H23稲水 水道災害復旧工事(第3工区)	配水布設工事 給水管切替工事 消火栓設置工事	L=1557.5m 12件 4基 33,841,500
	H23稲水 水道災害復旧工事(第4工区)	配水布設工事 給水管切替工事 消火栓設置工事	L=548.1m 23件 1基 20,863,500
	H23稲水 水道災害復旧工事(第5工区)	配水布設工事 給水管切替工事	L=1131.3m 22件 22,942,500
	H23稲水 水道災害復旧工事(第6工区)	配水布設工事 給水管切替工事	L=1162.0m 20件 23,806,860
	H23稲水 水道災害復旧工事(第7工区)	配水布設工事 給水管切替工事	L=1341.1m 16件 33,248,250
	H23稲水 水道災害復旧工事(第8工区)	配水布設工事 給水管切替工事 消火栓設置工事	L=1730.2m 59件 2基 61,404,000
	H23稲水 水道災害復旧工事(第9工区)	配水布設工事 給水管切替工事	L=1125.5m 27件 35,532,000
	H23稲水 水道災害復旧工事(第10工区)	配水布設工事 給水管切替工事	L=300.1m 1件 17,997,000
H23稲水 水道災害復旧工事(第11工区)	配水布設工事 給水管切替工事 消火栓設置工事	L=811.4m 41件 1基 26,260,500	
24 年 度 配 水 管 布 設 工 事	H24稲水 圏央道に伴う仮設配水管布設工事(県道江戸崎下総線)	仮設配管工事	L=174.8m 5,197,500
	H24稲水 圏央道に伴う仮設配水管布設工事(県道江戸崎新利根線)	仮設配管工事	L=318.2m 10,935,750
	H24稲水 圏央道に伴う仮設配水管布設工事(市道(江)102号線)	仮設配管工事	L=117.0m 5,061,000
	H24稲水 新利根小学校建築に伴う配水管布設替工事	配水布設工事 給水管切替工事	L=343.7m 4件 18,238,500
	H24稲水 県道改良に伴う配水管布設工事	配水布設工事 給水管切替工事	L=277.1m 1件 8,284,500
	H24稲水 伊佐部地区配水管布設工事	配水布設工事 給水管切替工事 消火栓設置工事	L=557.3m 5件 2基 13,912,500
	H24稲水 月出里(花指)地区配水管布設工事	配水布設工事	L=124.6m 2,656,000
H24稲水 江戸崎(西町)地区配水管布設工事	配水布設工事 給水管切替工事	L=63m 1件 1,344,000	

平成24年度 工業用水道事業会計決算概要

◎業務の実績

業務活動の結果業務量は、次のとおりとなりました。

項 目	単 位	平成24年度	平成23年度	比較
給 水 先 事 業 所 数	件	7	7	0
配 水 能 力	日/m ³	870	870	0
導・送・配水管延長	m	1,884	1,884	0
年 間 配 水 量	m ³	35,814	38,845	△ 3,031
年 間 有 収 水 量	m ³	33,737	36,320	△ 2,583
有 収 率	%	94.2	93.5	0.7
年 間 契 約 水 量	m ³	131,400.0	123,560.0	7,840
契 約 水 量 (1 日)	m ³	360	338	22
一 日 平 均 配 水 量	m ³	98	106	△ 8
一 日 最 大 配 水 量	m ³	192	229	△ 37

平成24年度 損益計算書

(単位:円)

科 目	24年度(A)	23年度(B)	増減(A)-(B)	増減率(%)
事 業 収 益 (A)	8,580,172	8,074,324	505,848	6.3
営業収益	8,509,717	8,001,984	507,733	6.3
営業外収益	70,455	72,340	△ 1,885	△ 2.6
事 業 費 用 (B)	7,996,770	7,067,492	929,278	13.1
営業費用	7,996,770	7,067,492	929,278	13.1
営業外費用	0	0	0	0.0
特別損失	0	0	0	0.0
当年度純利益(A)-(B)	583,402	1,006,832	△ 423,430	△ 42.1
当年度未処分利益剰余金	14,923,429	13,916,597	1,006,832	7.2

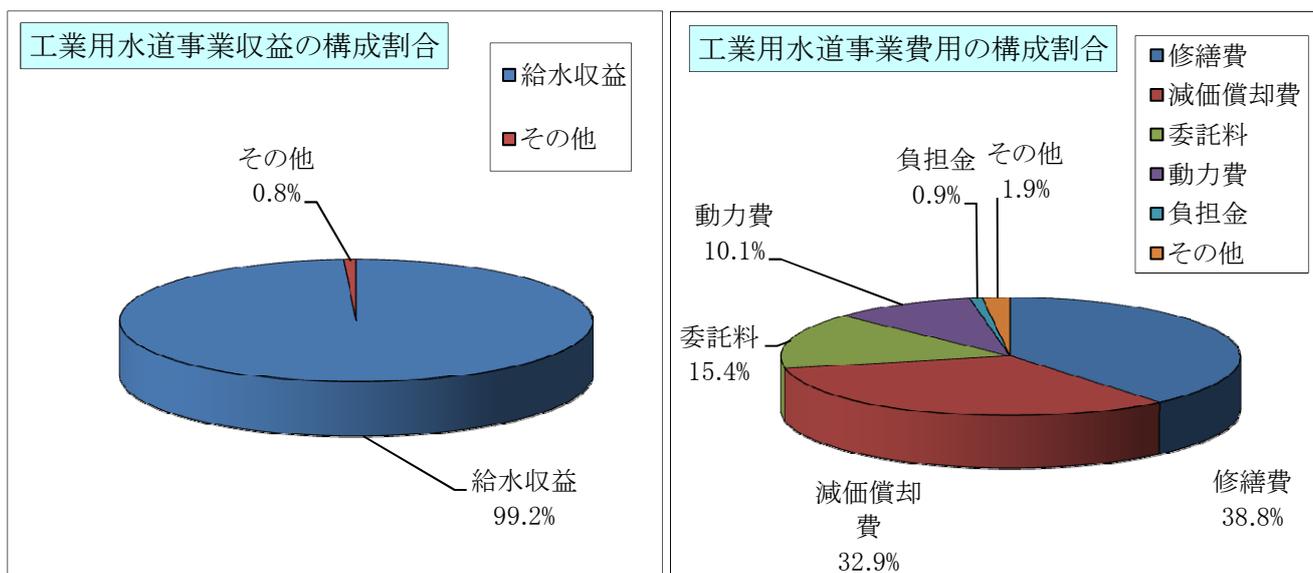
平成24年度 貸借対照表

(単位:円)

科 目	24年度(A)	23年度(B)	増減(A)-(B)	増減率(%)
固 定 資 産	47,375,874	50,006,866	△ 2,630,992	△ 5.3
流 動 資 産	113,235,833	113,970,381	△ 734,548	△ 0.6
資 産 合 計	160,611,707	163,977,247	△ 3,365,540	△ 2.1
負 債	8,604,876	12,553,818	△ 3,948,942	△ 31.5
資 本	0	0	0	0.0
剰 余 金	152,006,831	151,423,429	583,402	0.4
負 債 ・ 資 本 合 計	160,611,707	163,977,247	△ 3,365,540	△ 2.1

【24年度収益的収支】

工業用水道事業会計のうち、施設の運転、管理等、工業用水道事業を運営するための経費とその財源



◎工業用水道事業収益の構成（税抜）

（単位：円）

科 目	24年度(A)		23年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
給 水 収 益	8,509,717	99.2	8,001,984	99.1	507,733	6.3
そ の 他	70,455	0.8	72,340	0.9	△ 1,885	△ 2.6
収 益 合 計	8,580,172	100.0	8,074,324	100.0	505,848	6.3

◎工業用水道事業費用の構成（税抜）

（単位：円）

科 目	24年度(A)		23年度(B)		増減(A)-(B)	増減率(%)
	決算額	構成比(%)	決算額	構成比(%)		
修 繕 費	3,105,000	38.8	2,727,671	38.6	377,329	13.8
減 価 償 却 費	2,630,992	32.9	2,216,992	31.4	414,000	18.7
委 託 料	1,228,400	15.4	1,216,400	17.2	12,000	1.0
動 力 費	806,210	10.1	691,552	9.8	114,658	16.6
負 担 金	70,600	0.9	73,200	1.0	△ 2,600	△ 3.6
そ の 他	155,568	1.9	141,677	2.0	13,891	9.8
費 用 合 計	7,996,770	100.0	7,067,492	100.0	929,278	13.1